



令和 6 年度
(第 5 期)

事業報告書

笠間栗ファクトリー株式会社

1. 原料栗購入、製造実績について

<原料栗購入実績>

- ・原料とする笠間市産栗をJA常陸と個人生産者から購入しました。
- ・購入量としては、個人生産者に関しては昨年度より増加しましたが、JA常陸からは減少となっています。
- ・JA常陸が減少となった理由としましては、近年の栗の大粒化傾向により当社で求めるM,Lサイズの入荷が少なかったことが要因の一つと考えられます。

原料栗購入実績の推移

年度	買取 量合計 [t]	計画量[t]
		達成率[%]
2023年 (R5)	72.0	70.0
		102.9
2024年 (R6)	67.1	80.0
		67.1

<製造実績>

- ・栗ペーストの製造に関して、作業効率は前年比で4.6%向上しました。
(1日あたり960kgを安定製造できる体制が整いました。)
- ・茨城県や外部アドバイザーの指導により、製造ラインの人員配置や機械配置の見直し、工程基準の改善を実施したことで、人的リソースの活用効率や製造量、品質の向上につなげることができました。
- ・製造期間は前年比13日間削減となりました。
2023年度(R5)：製造期間 9/01～2/22
2024年度(R6)：製造期間 8/30～2/10

品目別の製品製造量 [t]

2023年(R5)	2024年(R6)
45.5	41.6

2. 販売実績について

<販売実績>

- ・笠間市内菓子事業者への安定供給と共に、茨城県内及び首都圏を中心に年間取引量が1 t を超える大口販路の確保に努め、197社へ45.8 t の販売を行いました。※2023年度(R5)製造21.3tは11月に完売
- ・茨城県やJR東日本グループと連携し、「笠間の栗」のブランド化に繋がる有名ブランド店との新規取引やホテルグループへの販売を増やすことができました。
- ・笠間市ふるさと納税返礼品として、「ペースト、プリン、アイス」の登録を行い、申込みをいただきました。

販売量の推移 [t]		
品目	2023年(R5)	2024年(R6)
栗ペースト	33.4	44.9
甘露煮 むき栗	0.4	0.9
合計	33.8	45.8

販売先		
笠間市内	29社	14.7%
茨城県内	59社	29.9%
茨城県外	109社	55.3%

3. 財務状況について

<財務に関する件>

当期は、茨城県信用農業協同組合連合会、筑波銀行から借受けした分の利息返済を行いました。
茨城県信用農業協同組合連合会、筑波銀行への元金返済開始は令和8年度を予定しております。
また、当期の純利益は2,116千円となりました。

4. 翌期への課題

<製造に関する件>

- ・ペースト製造については、作業に適した人員配置が必要となるため、作業員の確保が重要となります。
- ・原料栗については、加工までの計画や仕組みを構築し、歩留まり率改善と、品質向上に努めたいと思います。
- ・むき栗製造については製造方法の見直しや価格帯、甘露煮については販売形態の検討など、シミュレーションを行いながら、改善策を見出したいと思います。
- ・渋皮煮製造については、本年度も省力的に製造できる工程で試作を継続します。

<販売に関する件>

- ・引き続き、既存の販売先を確保しつつ、大口販路の確保が必要となります。
- ・外国産・他産地の栗を使用している大口販路との商談では、製品規格や販売単価が課題になっております。
- ・製品規格として、取引先のオーダーに応じたオリジナル製品の製造を検討しながら、新規販路の獲得に繋げてまいります。

<その他>

- ・原材料費を含む経費の単価が増加傾向にあり、経費の圧縮を図っていく必要があります。
機器保守等の更改時期の契約に関しては、契約内容や契約額の精査をおこなってまいります。